

家庭用エネルギーマネジメントシステム「EMINEL」の普及版モデル

EMINEL

smart

誕生！

2025年9月
北海道ガス株式会社

EMINEL smart

2025年9月 新築分譲マンション向けにサービスリリース！

- 家庭用エネルギーマネジメントシステム「EMINEL」の普及版モデルとして登場！
- 暖房や給湯の遠隔操作、省エネアドバイスの確認、エネルギーの見える化が1つのアプリで完結できる、北ガス独自開発のシステム
- ガスセントラルヒーティングシステム※をご利用のお客さまは無料で利用可能

※「無線LANリモコン」の設置が必要



EMINELシリーズについて

EMINEL

北ガスのエネルギーマネジメントシステム [エミネル]

2018年リリース

北ガス独自の暖房自動
省エネ制御により、暖房
エネルギーを削減



EMINEL smart

2025年リリース

特別な工事不要で使用
できる普及版モデル



EMINEL

北ガスのエネルギーマネジメントシステム [エミネル]

EMINEL smart

対象

戸建住宅にお住まいのお客さま

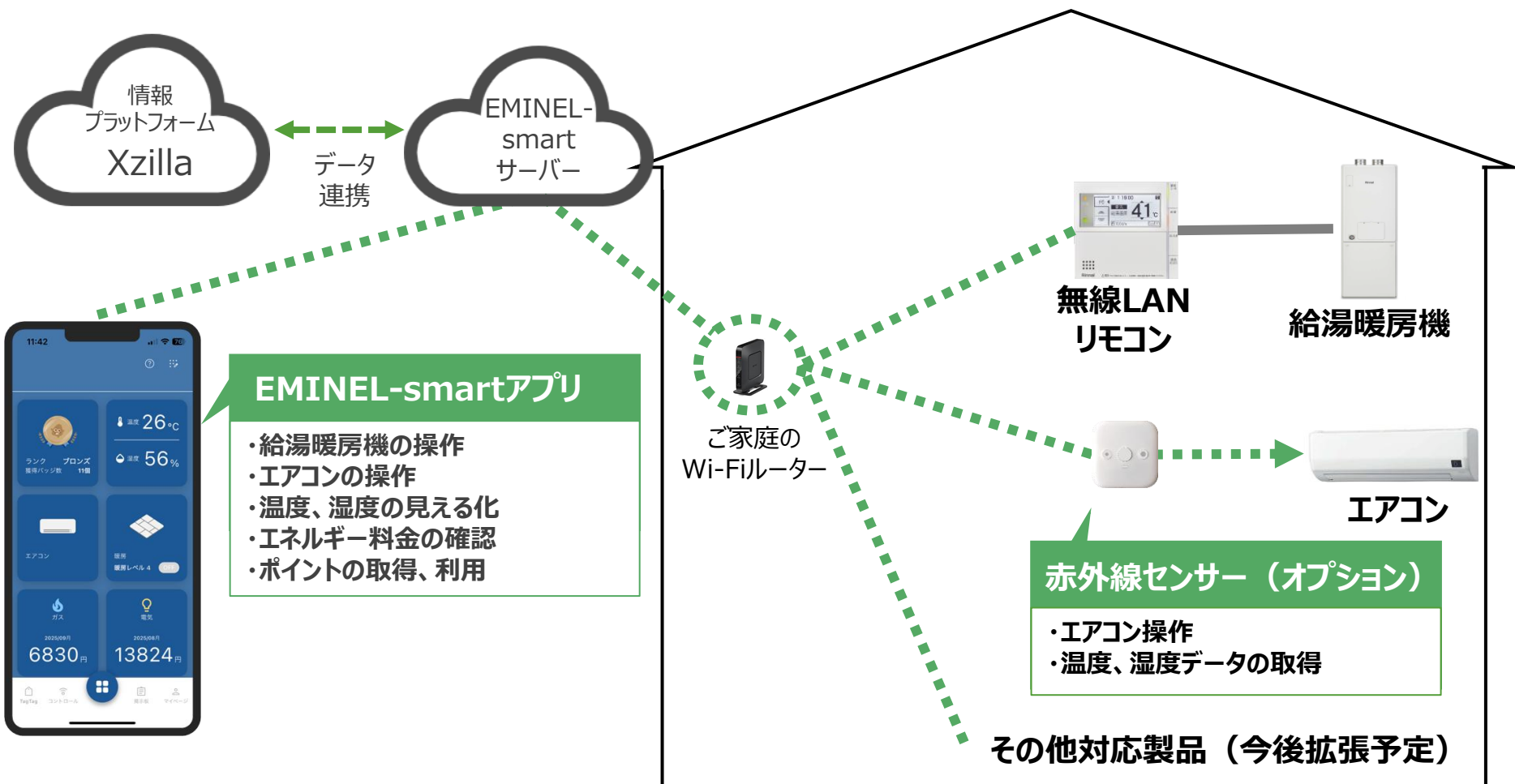
新築分譲マンションにお住まいのお客さまから
順次、戸建住宅・賃貸住宅にも拡大

主な機能

- ・暖房自動省エネ制御
- ・給湯暖房機の遠隔操作
- ・エネルギー見える化
- ・省エネアドバイス
- ・エアコン操作

- ・給湯暖房機の遠隔操作
- ・エネルギー見える化
- ・省エネアドバイス
- ・エアコン操作（オプションの赤外線センサーが必要）

- 2023年10月にリリースした、北ガス独自の情報プラットフォーム「Xzilla（くじら）」と情報を連携することで、パーソナライズした省エネ情報をお届け
- ボイラーの無線LANリモコンと無線通信することで、給湯暖房機を操作
- IoT接続できるエアコン等の機器を一元で管理可能（オプションの赤外線センサーが必要です）





快適・便利 なくらし

外出先からの暖房・給湯・冷房※の遠隔操作や、機器の自動スケジュール運転等の**スマートホーム機能**により、快適で便利なくらしを実現。

※オプションの赤外線センサーが必要です



省エネ

プッシュ通知で届く**省エネアドバイス**や、みんなの省エネアクションをシェアする機能により、楽しく継続できる省エネ体験を提供します。



おトクな ポイント

従来の北ガスポイントに加えて、独自の「**ランクアップ制度**」で長く使うほどおトくに。アプリの利用によりランクが上がり、ポイントがどんどん貯まります。

**ガスセントラルヒーティングシステムをご利用のお客さまは
これらのサービスを無料で利用可能！**

(「無線LANリモコン」の設置が必要)

- 特別な工事が不要で、外出先から暖房・給湯・エアコン※をスマートフォンでコントロール可能
- 「朝起きる前に暖房ON」、「出かける前に暖房OFF」など、生活リズムに合わせたスケジュール運転が簡単に！

※エアコンの操作にはオプションの赤外線センサーの設置が必要です

The image illustrates the Smart Home App interface and its usage scenarios. The app is shown on a smartphone screen, displaying the following features:

- Temperature and Humidity Display (温湿度表示):** Shows current temperature (26°C) and humidity (56%). A note indicates this is possible with the optional infrared sensor.
- Heating Operation (暖房の操作):** Displays two heating zones (暖房1 and 暖房2) with their respective levels (4 and 5) and a toggle switch (OFF).
- Air Conditioner Operation (エアコンの操作):** A toggle switch for the air conditioner (エアコン).
- Hot Water Operation (給湯の操作):** A toggle switch for hot water (お風呂).

Two user scenarios are depicted:

- Scenario 1 (Left):** A man with a suitcase is returning home early. A speech bubble says: 「予定より早く帰るから、部屋を暖めておこう」 (Since I'm home earlier than planned, I'll warm up the room). This scenario is linked to the Heating Operation feature.
- Scenario 2 (Right):** A woman is taking a bath. A speech bubble says: 「帰宅前にお風呂のお湯をためておこう！」 (I'll fill the hot water bath before I get home!). This scenario is linked to the Hot Water Operation feature.

At the bottom of the app interface, there are icons for TagTag, Control, Display Board, and My Page. A note at the bottom left states: ※オプションの赤外線センサーの設置により利用可能 (Usage possible with the optional infrared sensor installed).

- ・【使用量の見える化】アプリでエネルギー使用状況をグラフで簡単に確認
- ・【省エネアドバイス】北ガスが厳選した「省エネアドバイス」をプッシュ通知でお届け。チェックすることでポイントが貯まるので、楽しみながら省エネが可能に
- ・【省エネ情報の共有】お客さまの省エネアクションを投稿しシェアする機能を備え、楽しく継続できる省エネを提供

＜使用量の見える化＞



＜省エネ情報をアプリで共有＞

アンケート：あなたの省エネを教えてください

家を留守にする時や、寝る前には必ずヒーターの設定温度を「2」まで下げています。



アンケート回答で
ポイントGET！

共有

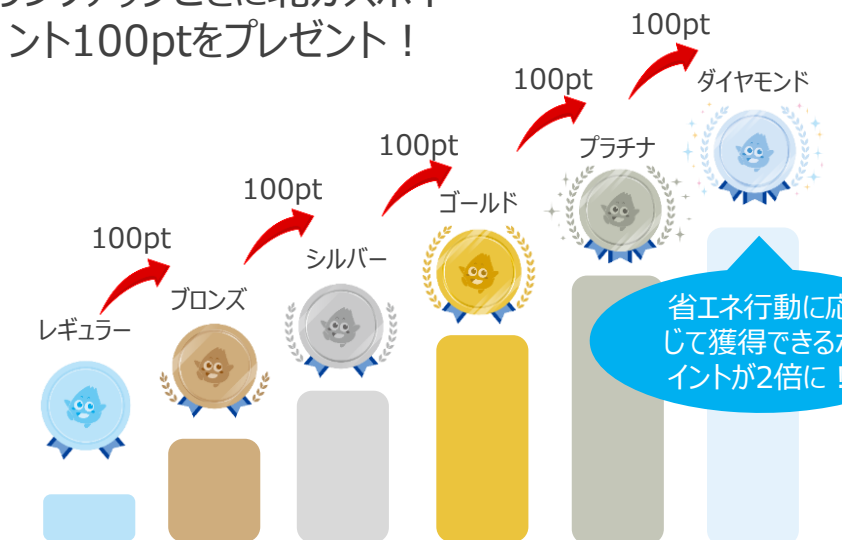


「読みました！」
でポイントGET！



- EMINEL-smartでは従来の北ガスポイントに加えて、毎月の「ログインボーナス」や「省エネアドバイス」の閲覧など、省エネ行動に応じてポイントを獲得可能
- さらに、ランクアップ制度で長く使うほどもっとおトくに。獲得したポイントに応じてランクが上がり、昇格するたびにボーナスポイントをプレゼント

ランクアップごとに北ガスポイント100ptをプレゼント！



＜年間獲得ポイントイメージ＞

北ガスのガス・電気
ご利用のお客さま

EMINEL-smart
ご利用のお客さま

1,200pt/年



2,000pt/年

※上記ポイント数はガス料金「ゆ〜めつく24ネオ」をご契約かつ、北ガスの電気ご利用のお客さまの場合。獲得ポイント数はお客さまのアプリの利用状況等により異なります。

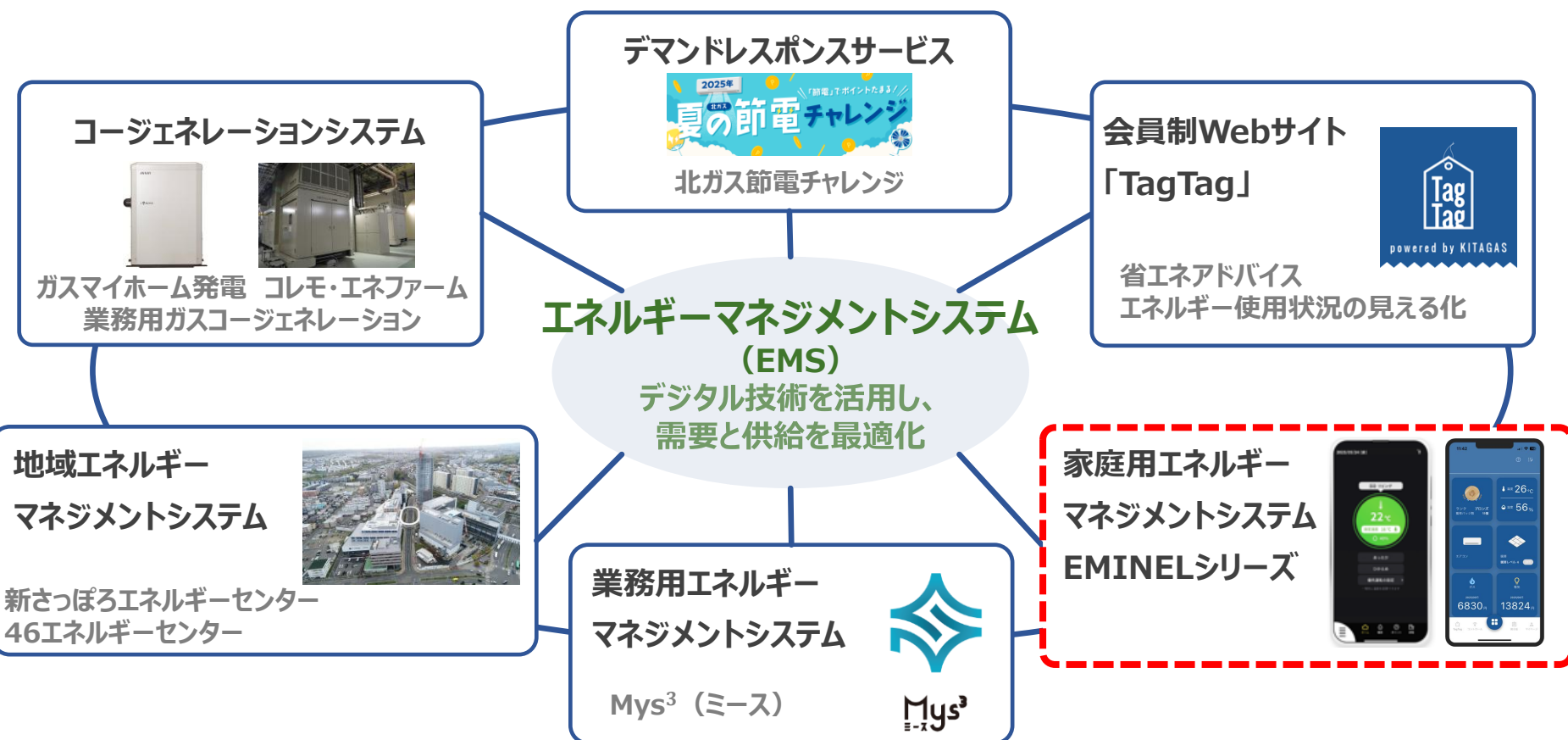
北ガスポイントとは？

電子マネーや北ガスグルメチケットなど色々な商品と交換できる北海道ガスのポイントサービスです。

交換商品の例



EMINELシリーズの普及拡大により、省エネを推進するとともに、デマンドレスポンス等によるエネルギー需給の最適化に取り組むことで、**エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造**を実現



北ガスグループ経営計画「Challenge 2030」

- 北ガスグループは、2050年のカーボンニュートラル社会実現を見据え、2030年までの経営計画「Challenge 2030」を策定
- EMINELシリーズは、これらの中核をなす重要なサービスとして、省エネの推進と、エネルギー需給の最適化に貢献

Challenge 2030 6つの考え方（ が特にEMINELに関わる部分）

省エネ



省エネを基盤としてあらゆる手段、可能性を探りながら、脱炭素社会への備えを進めていきます

情報



情報プラットフォームの構築により省エネの定量化と価値化を図り、量の拡大に依存しない価値創造型の事業基盤を構築していきます

DX



非効率・不合理なものを排除し、DXを最大限活用、機能させ、業務改革を遂行していきます



地域資源の活用に北ガスグループの総力をあげて取り組み、全道への展開と新たな事業の可能性を追求していきます



次代を担う人材として実践的で高度な専門家集団等、北ガスグループ全体での人材育成を推進していきます



社会の急激な変化や災害等に迅速・柔軟に対応できるよう、DXの活用により意思決定の迅速化を図っていきます

北ガスグループ経営計画「Challenge 2030」

総合エネルギーサービス事業の進化による機能的な省エネ、再生可能エネルギーのさらなる拡大などによりCO₂の削減を進め、あらゆる可能性を探り、脱炭素社会への備えを進めていく

